

菊谷栄パネル展示会を開催しました！

2018.04.21(土)～27日(金)
油川市民センター

4月21日(土)～27日(金)まで、油川市民センターで菊谷栄パネル展示を行いました。油川大浜出身です。昨年没後80年、伝説の劇作家ともよばれビートたけしさんも尊敬されている方です。エノケンの座付劇作家として活躍しエノケンの黄金時代を築きました。昭和12年9月に徴兵招集を受け、11月9日、中国で撃たれ戦死します。もし戦後も生きていたら演劇やミュージカルは違った展開を見せていたともいわれています。今回の展示会は昨年近代文学館で実施した「没後80・菊谷栄展」のパネルを特別提供していただきました。菊谷は油絵の学校にも通っていたこともあり、油川にも4点存在しています。油川小学校さん、まこと寿司さんから協力をいただきました。東奥日報の取材も受けています。



油絵と石碑の紹介



菊谷栄画家を夢見て



菊谷栄が見た夢



油川小学校さん提供



油川小学校さん提供



まこと寿司さん提供

ギャラリー Gallery

◆菊谷栄パネル展 27日まで、青森市の油川市民センター1階ギャラリーで一写真。

同市油川出身の劇作家・菊谷栄（1902～37年）の功績や生きざまを、地元の人たちに知ってもらおうと、まちづくり団体「油川コミュニティ協議会」（葛西清悦代表）が主催。

没後80年に合わせて県近代文学館で開かれた企画展のパネル11枚のほか、油川に残る菊谷の油絵4点を展示している。

油絵は油川小学校の校長室に掲げられている風景画や、地元のすし店が菊谷の親族から譲り受けた舞台の絵など普段はお目にかかれないものばかり。葛西代表は「地元の油川でも菊谷のことを詳しく知る人は少ない。油絵も見られる貴重な機会なので、ぜひ会場に来てもらえれば」と話した。（成田亮）

東奥日報朝刊に掲載されました



まこと寿司さん提供